

2015 年 8 月 11 日（火）～24 日（月）

川上村地域づくりインターンシップ 報告書

奈良県立大学 地域創造学部観光学科 3 年

井上玲奈

2015年度 川上村地域づくりインターンシップ 報告書

奈良県立大学 地域創造学部観光学科3年

井上 玲奈

1. 自己紹介

奈良県立大学地域創造学部所属している井上玲奈(いのうえ れな)です。
大学では地域活性化やまちづくり、観光などについて学んでいます。
所属ゼミでは「南アジアにおける観光開発と異文化理解」を専攻しています。
在住している京都市から大学のある奈良市まで通っており、本屋でアルバイトしています。



(インターンシップ期間中に川上村で出会った方々にお渡しした名刺)

2. 川上村地域づくりインターンシップ参加理由

- ・通学している奈良県一特に奈良県南部について知りたい。
- ・地域創造学部で学んでいながら、フィールドワークが少なく、実際に地域に出向いて学びたい。
- ・公務員志望であり、将来の仕事についてのイメージを膨らませたい。

3. 活動日程表

参加期間：平成27年8月11日(火)～24日(月)の14日間

8月11日(火)	
午後	役場集合、日程説明 栗山村長・松村副村長にご挨拶/水源地課の皆さんとの歓迎会 (瀬戸 森脇さん宅宿泊)
8月12日(水)	
午前	各課へのご挨拶 川上村の概要レクチャーと質疑【水源地課今福さん】
	移住・定住施策 (川上ing 作戦、地域おこし協力隊) レクチャーと質疑【定住促進課の方々】
午後	常翔学園ブートキャンプ ワークショップ 見学【協力隊村上航さん・横堀美穂さん・神保大樹さん】
夜	常翔学園ブートキャンプ ショートプレゼン(進捗報告)参加 (高原 早稲田さん宅宿泊)
8月13日(木)	
午前	丹生川上神社上社・川上村立図書館 訪問
午後	常翔学園ブートキャンプ 報告会参加
夜	東川地区盆踊り大会に参加 (高原 早稲田さん宅宿泊)

8月14日(金)	
午前	森と水の源流館訪問、水源地の森探索【森と水の源流館 上西由恵さん】
午後	東部地区盆踊り大会に参加 (高原 早稲田さん宅宿泊)
8月15日(土)	
午前	(自由行動)協力隊鳥居由佳さん宅 訪問
午後	かみせ祭り (高原 早稲田さん宅宿泊)
8月16日(日)	
	(自由行動)入之波温泉山鳩湯【協力隊早稲田緑さん】 (粉尾 横堀さん宅宿泊)
8月17日(月)	
午前	箸作り見学【部矢正明さん・喜代子さん】
午後	樽丸作り見学【春増薫さん】 (粉尾 横堀さん宅宿泊)
8月18日(火)	
午前	大滝ダム・防災ステーション見学
午後	匠の聚 アトリエ訪問(鈴木雄一郎さん・智子さんご夫妻・栗生雅史さん・松本一平さん)・陶芸体験(山本喜一さん)/川上村立図書館訪問 (粉尾 横堀さん宅宿泊)
8月19日(水)	
午前	林業学習、吉野杉工房(木工センター)・川上さぷり訪問【吉野かわかみ社中 森口尚さん】
午後	松本博行さん訪問 / 役場職員の皆さんとの懇親会 (粉尾 横堀さん宅宿泊)
8月20日(木)	
午前	森と水の源流館にて白屋地区で採取された植物標本づくり/白屋地区民具調査 見学
午後	上谷地区訪問【終日 森と水の源流館 木村全邦さん】 (柏木 朝日館宿泊)
8月21日(金)	
午前	達っちゃんクラブ前日準備スタッフ【辻谷達雄さん・弘子さん】
午後	振り返りとまとめ/高原地区訪問【大辻区長ご夫妻・中平繁和さん】 (柏木 朝日館宿泊)
8月22日(土)	
終日	やまいき市スタッフ【協力隊村上航さん・村山祐理さん・神保大樹さん】
夜	朝日館手伝い (北和田 村山さん宅宿泊)
8月23日(日)	
午前	川上村立図書館訪問
午後	報告書まとめ やまいき商店に滞在 (北和田 村山さん宅宿泊)
8月24日(月)	
10:00	報告会(役場第1会議室)
11:00	全日程終了

8/12 川上村概要レクチャー
【水源地区課・定住促進課】



8/13 プートキャンプ報告会 見学
東川地区盆踊り大会



8/17 箸づくり見学【部矢さん】



梅丸づくり見学【春増さん】



8/14 森と水の源流館見学【上西さん】
水源地の森 探索



8/15 かみせ祭



8/18 大滝ダム
防災ステーション見学



匠の聚アトリエ訪問【鈴木さん】



匠の聚アトリエ訪問【栗生さん】



小西保文アトリエ記念館



上谷地区訪問



8/19 林業学習【森口さん】
木工センター・川上さぶり訪問



8/20 源流館 標本づくり【木村さん】
白屋地区民具調査



8/21 達ちゃんクラブ前日準備
高原地区訪問



8/22 やまいぎ市スタッフ



4. 川上村について 過疎の現状について

川上村は現在人口約1600人、高齢化率約56%である。

日本創成会議・人口減少問題検討分科会により、川上村は2010年から30年間で20～39歳の女性人口の予想減少率が奈良県で最も高い89.0%と推計された。全国規模でみても、群馬県南牧村の89.9%について二番目に高い。子どもの大半をこの年代の女性が産んでおり、次の世代の人口を左右するという理由から、将来に消滅する可能性がある自治体に896が指定された。つまり、日本中に消滅するかもしれない地域が存在している状況である。さらに、総務省が公表した2014年10月時点の人口推計で全国47都道府県のうち東京、沖縄、埼玉、神奈川、愛知、千葉、福岡の7都県のみ前年に比べ増加し、地方の人口は減り続けている。

そのような中、川上村に移住・定住者を増やすことは容易ではない。川上村に人を呼び込むためには、村民の力が必要になってくる。そして、村民の目だけでは見えないことを外部の人が気づかせてあげるということも必要である。

5. 14日間のインターンシップを通して感じたこと

○交通面

- ・村民のほとんどが車で移動しており、思っていたほどの不便さは感じていない。

- ・村のコミュニティバス（やまぶきバス）もある。

○生活面

- ・仕事がない（限られている）。
- ・空き家がない（すぐに住める状況にない）。単身者向けの住宅がない。
- ・子供が少ない。高校がない。→村外に出ていくきっかけ

○村づくり

- ・地域おこし協力隊の存在や活動は、村に元気を与えている。
- ・大学生との連携（ブートキャンプ、木匠塾、インターン等）に積極的である。
- ・定住促進（川上ing）ツアー等、役場職員の取り組みがある。

6. 提言—報告会

川上村で活動する中で、私が注目したのは川上村立図書館である。本屋で働いているということもあり、来村前から奈良県で唯一の村立図書館に興味を持っていた。滞在期間中に何度か足を運び、図書館の設立や運営、課題について司書さんや図書館の設立に携わった松本さんにお話をお伺いした。

館内の書棚や椅子などは特産の吉野杉で作られており、和みある温かい空間となっている。



○川上村立図書館について

- ・平成14年10月「やまぶきホール」内に開館
- ・床面積229.64㎡、蔵書数約3万4千冊
- ・年間利用者統計 約3,600人（平成26年度）
- ・奈良県内図書館とのネットワークがある。
- ・図書館活動

図書館協議会(年4回)、読書会(テーマによる読書評)、おはなし会(子供・高齢者への読み聞かせ)

○川上村立図書館の魅力—ベストセラーも早く借りられる

～芥川賞受賞『火花』又吉直樹と比較～

- ・京都市図書館→所蔵数38冊、予約件数2081件
 - ・川上村立図書館→所蔵数1冊、予約件数1件
- (2015年8月23日現在)

○川上村立図書館の課題

- ・看板が小さく、場所がわかりにくい(村外から訪ねる人は特に)。
- ・来館者数が少ない。(13人/日)
- ・発信力が低い。(広報図書館だよりのみ)
- ・村内の他の施設とのイベントなどの連携がない。

○図書館スペースの活用 川上村立図書館を**来村窓口**にする！



川上村インフォメーション

- ・大きい観光マップを作成し、コルクボード(写真参照)にはる。
- ・それぞれの観光施設のパンフレット(写真参照)に POP をつける。
- ・司書に聞けば、おすすめ場所を教えてもらえる。 Ex)他の観光施設のイベント紹介等
- ・郷土資料、川上村関連新聞記事のスクラップブックが図書館にあるので、川上村について学べる。



図書館スタッフであり匠の聚アーティスト小川こころさん作のキャラクター（ヤマブー）をマップやPOPに使用し、可愛い観光情報スペースを作る。

そのためには・・・

まず図書館にきてもらう必要がある！

- ・ブログや Facebook などの SNS で宣伝する。
- ・観光パンフレットに川上村立図書館を観光施設として掲載する。

◎川上村立図書館について知っていくうちに、魅力はたくさんあるが、課題もあることが分かった。

【人が集まる場 情報収集の場】として村内外問わず、多くの人が活用する図書館になってほしいと考える。

7. 地域づくりインターンを終えて

2週間の地域づくりインターンを通じて、川上村に関われたことは本当に貴重な体験でした。川上村では数え切れないほどの人々と会話をしました。色んな人の意見や考えを聞く、また私も考えを話す、こうしたコミュニケーションの場が地元京都市にいるより豊富にありました。深く考える機会がたくさんあり、私を成長させてくれる日々を過ごすことができました。また、川上村について学ぶことは、自分の地域について見直すきっかけにもなりました。

報告会で、「学生側も学ぶことはあるけれど、受け入れ側も学ぶことはある。」とおっしゃっていただいたとき、参加してよかったと感じました。

川上村役場はじめ温かく受け入れてくださったすべての皆さまのおかげで楽しく活動できたことに、心よりお礼申し上げます。



(最終日 8月24日(月) インターンシップ報告会の様子)

～今後のつながり～

「2週間川上村に来て、帰ってそれで終わり？」ということをよく尋ねられました。

確かにその通りで、帰ってから何ができるかというのは難しい問題です。

○私にできること＝川上村に注目し続けること

- ・川上村に関する Facebook の投稿をシェアする。
- ・また、川上村に遊びに行く。

無関心にならない、感謝を忘れない。これが一番の恩返しではないかと考えます。